

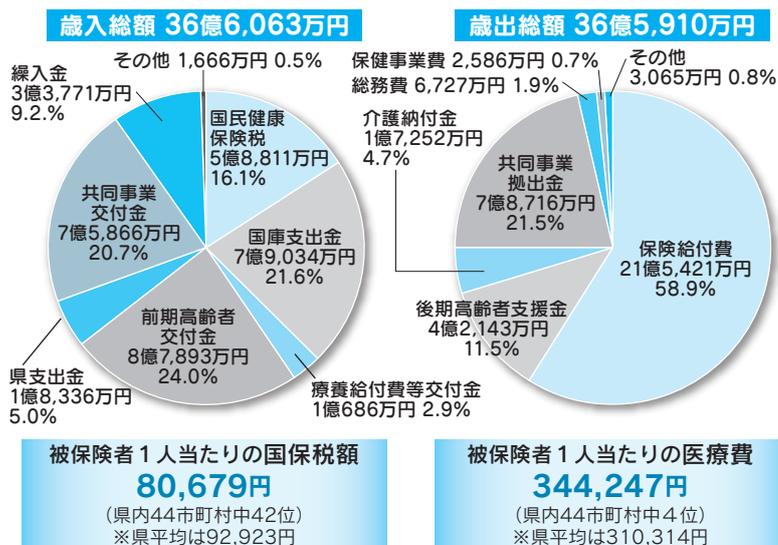
平成28年度 国民健康保険の決算状況について

国保は、加入者の皆様が病気やけがに備えて国保税を出し合い、必要な医療費に充てる相互扶助の制度です。国保財政は、国保税や国、県からの補助金など限りある財源で運営されており、特別会計で経理していることから、歳出規模に見合った歳入を確保する必要があります。

しかし高萩市の現状は、高齢化や医療の高度化の進展に伴い医療費が増加傾向にあり、被保険者の減少による国保税の減収等で、厳しい財政運営が続いています。

加入者の皆様には、引き続き国保税の期限内納付や医療費の抑制にご協力くださいますようお願いいたします。

問合せ 保険医療課 ☎23-2117



～医療費抑制のために一人ひとりができること～

① 特定健診・特定保健指導で生活習慣病の発症を未然に防ぎましょう！

特定健診の目的は、高血圧や脂質異常症、糖尿病など、個々の生活習慣病の早期発見だけでなく、早い段階でメタボリックシンドロームやその危険因子を見つけ、生活習慣病の発症を未然に防ぐことにあります。健診の結果、生活習慣の改善が必要と判断された方は、生活習慣病の発症リスクの度合いにより必要に応じた支援(特定保健指導)が受けられます。

生活習慣病を未然に防ぐことは、医療費を抑制するだけでなく、毎日をいきいきと過ごすことにもつながります。特定健診をチャンスととらえ、メタボリックシンドロームの予防・改善に積極的に取り組みましょう。

一人ひとりの小さな取り組みが、誰もがいつでも安心して医療を受けられる医療保険制度を守り続けることにつながります。皆様のご理解とご協力をお願いします。

② 「ジェネリック医薬品」を活用しましょう！

後発医薬品(ジェネリック医薬品)とは、先発医薬品(新薬)の特許期間が切れた後に販売される新薬と同じ有効成分を持つ低価格な医薬品のことです。

ジェネリック医薬品の有効成分・品質は、厚生労働省により承認されており、安心して使用することができます。価格も新薬より安く、自己負担も軽減され経済的です。特に、継続的に服用したり、複数の薬を服用したりする場合、薬代を減らす効果が大きくなります。結果として、年々増え続ける医療費全体の抑制にもつながります。

ジェネリック医薬品を希望される場合は、医師・薬剤師にご相談ください。

人事行政の運営状況 (市職員の給料等の状況)

問合せ 総務課 ☎23-2119

「高萩市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、市職員の給料等の状況をお知らせいたします。

市職員の給料は高萩市行財政健全化計画の一環により、管理職手当を10%減額して支給しています。

また、市長、副市長及び教育長の給料についても、市長10%、副市長6%、教育長4%減額して支給しています。

高萩市職員の給与等の状況につきましては、高萩市ホームページにも掲載されております。(平成23年度～28年度公表値)

【職員の給与の状況】 (平成29年度一般会計当初予算)

職員数 (A)	給与費		
	給料	職員手当	期末・勤勉手当
296人	11億1,179万円	2億1,806万9千円	4億3,328万9千円
	17億6,314万8千円		
一人当たりの給与費(B/A)			595万7千円

【人件費の状況】 (平成28年度の普通会計決算)

歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)
127億1,923万5千円	24億268万4千円	18.89%

【特別職及び教育長の給料等の状況】 (平成29年12月1日現在)

区分	条例額	※支給額	平成29年度 期末手当支給額
給料	市長	845,000円	760,500円
	副市長	695,000円	653,300円
	教育長	635,000円	609,600円
報酬	議長	455,000円	455,000円
	副議長	395,000円	395,000円
	議員	375,000円	375,000円

※市長、副市長、教育長については減額後の額

【初任給、平均年齢、平均月額給料】 (平成29年4月1日現在)

職種	初任給	平均年齢	平均給料
行政職	大卒	42歳	316,000円
	高卒		
消防職	大卒	39歳1月	315,119円
	高卒		
技能労務職	高卒	48歳8月	297,740円